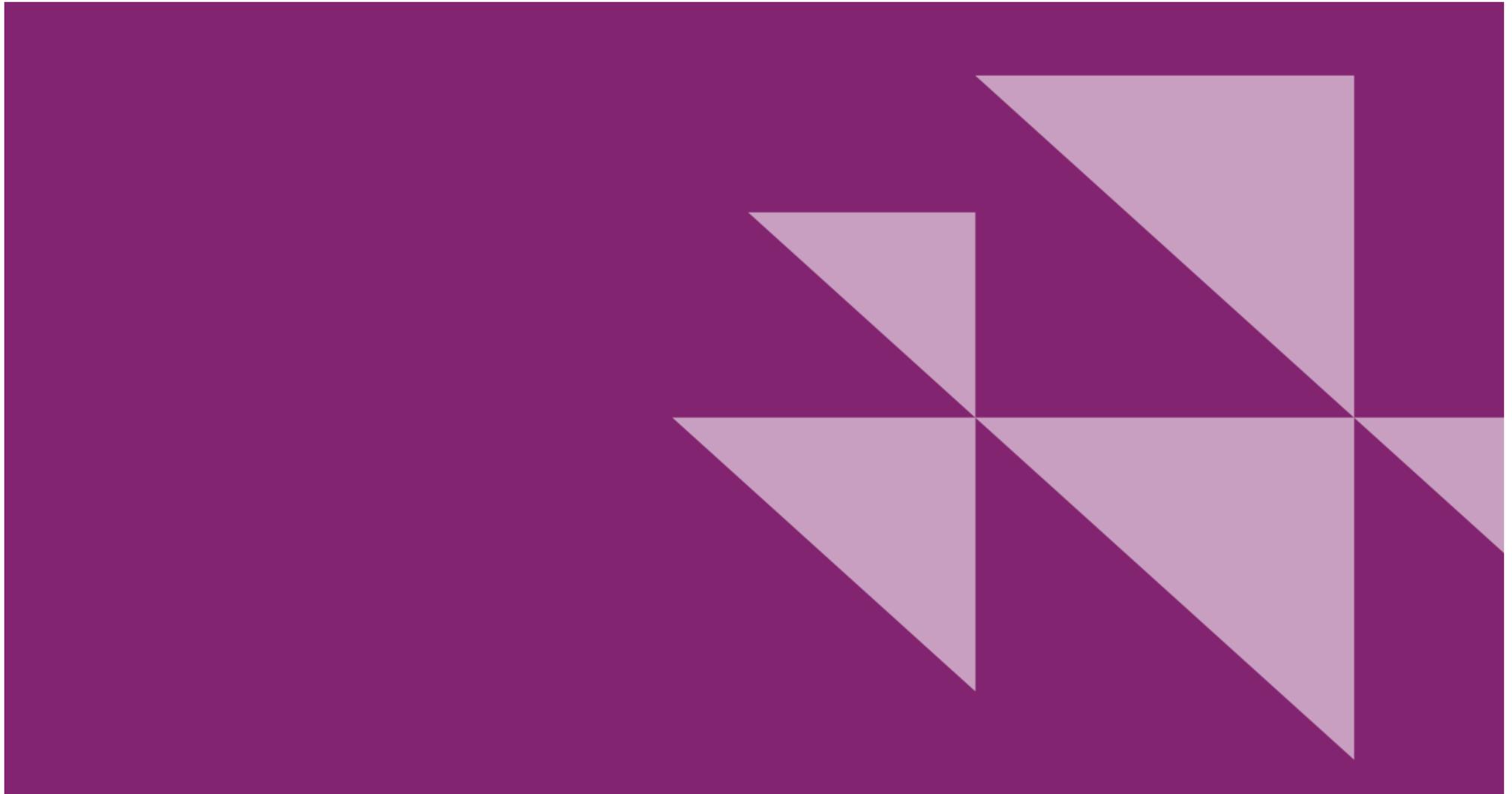

CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価基準

CDP 気候変動プログラム 2022



CDP2022 サプライヤーエンゲージメント評価基準

イントロダクション

サプライヤーエンゲージメント評価基準は、企業の CDP 回答によって報告されたサプライヤー活動に関して評価を行います。評価では、回答内容の詳細さと包括性、企業の気候変動問題に対する認識の度合い、管理手法、気候変動に関するアクションの進捗度合いについて、回答を基に評価します。

必ずお読み頂きたい文書

本スコアリング基準は「CDP2022 気候変動質問書回答ガイダンス」、「CDP2022 スコアリングイントロダクション」、「サプライヤーエンゲージメント評価イントロダクション」と併用してください。本スコアリング基準を閲覧する際には、この 3 つの文書を事前にご理解頂くことを強く推奨しています。「2022 サプライヤーエンゲージメント評価イントロダクション」の文書には、本スコアリング基準を正しく理解するために必要な情報が記されています。

本スコアリング基準のステータス

本スコアリング基準はどのように回答が採点されるのかを企業に説明することを意図しています。

「CDP は、本スコアリング基準に記載されている採点基準を、回答期間中いかなる時においても告知なく削除、修正、変更する権利を有しています。このような変更は、環境スチュワードシップに向けた進捗状況を評価する目的において、スコアリング基準が公正、公平かつ効果的に活用できるようにするため必要な場合に、例外的に行われます。」

ガバナンス

社員へのインセンティブ

(C1.3) 目標達成を含め、気候変動問題への対応にインセンティブを与えていますか。

回答形式

以下の選択肢から選択してください:

気候関連問題の管理に対してインセンティブを与えている	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい。いいえ。現在はまだだが、今後 2 年以内に導入予定いいえ。また、今後 2 年以内に導入予定もない	文章入力欄 [最大 1,000 文字]

C1.3 – 採点基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準 採点基準

本質問はスコアリングされません。

配点

得点	配点
0	0

(C1.3a) 気候関連問題の管理に対して提供されるインセンティブについて具体的にお答えください。

他の質問との関連性

本質問は C1.3 で「はい」を選択した場合のみ表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。「行を追加」をクリックして、回答行を追加することができます。

誰が、これらのインセンティブから利益を受けることができますか？	インセンティブの種類	インセンティブを受ける対象	コメント
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 取締役会長 • 取締役会/執行役員会 • 取締役 • コーポレート・エグゼクティブ・チーム • 最高経営責任者(CEO) • 最高財務責任者(CFO) • 最高執行責任者(COO) • 最高調達責任者(CPO) • 最高リスク管理責任者(CRO) • 最高サステナビリティ責任者(CSO) • 最高投資責任者(CIO)【金融機関のみ】 • 最高契約査定責任者(CUO)【金融機関のみ】 • 最高債権責任者(CCO)【金融機関のみ】 • その他の経営幹部役員 • 社長 • 役員 • 経営陣 • 事業部長 • エネルギーマネージャー • 環境、衛生、および安全マネージャー • 環境/サステナビリティマネージャー • 設備管理マネージャー 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 金銭的報酬・褒賞 • 非金銭的報酬・褒賞 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 排出量削減プロジェクト • 排出量削減目標 • エネルギー量削減プロジェクト • エネルギー量削減目標 • 効率化プロジェクト • 効率化目標 • 環境に関する行動変化関連指標 • 調達の際に環境評価基準を取り入れる • サプライチェーンとのエンゲージメント • 気候変動に関連するサステナビリティ指標に対する企業のパフォーマンス • 気候変動に関する目標に対するポートフォリオ/ファンドのアライメント【金融機関のみ】 • その他 (具体的にお答えください) 	<p>文章入力欄 [最大 2,400 文字]</p>

<ul style="list-style-type: none"> • プロセス運用管理マネージャー • 調達マネージャー • 広報マネージャー • リスク管理マネージャー • ポートフォリオ/ファンドマネージャー【金融機関のみ】 • ESG ポートフォリオ/ファンドマネージャー【金融機関のみ】 • 投資アナリスト【金融機関のみ】 • 責任投資専門スタッフ【金融機関のみ】 • 投資家対応担当者【金融機関のみ】 • リスク管理担当者【金融機関のみ】 • バイヤー/パーチェイサー • すべての従業員 • その他（具体的にお答えください） 			
---	--	--	--

[行を追加]

C1.3a – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

以下の場合、得点が与えられます。:

A.

- i) [インセンティブを受ける対象]欄で、「バイヤー/購買担当者」または「すべての従業員」を選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で「金銭的報酬・褒賞」を選択している- 2 点
または
- ii) [インセンティブを受ける対象]欄で、「バイヤー/購買担当者」または「すべての従業員」を選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で「非金銭的報酬・褒賞」を選択している- 1 点

B.

- iii) [インセンティブを受ける対象]欄で、「最高調達責任者(CPO)」「最高財務責任者(CFO)」「調達マネージャー」のいずれかを選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で「金銭的報酬・褒賞」を選択している- 2 点
または
- iv) [インセンティブを受ける対象]欄で、「最高調達責任者(CPO)」「最高財務責任者(CFO)」「調達マネージャー」のいずれかを選択し、かつ[インセンティブの種類]欄でかつ[インセンティブの種類]欄で「非金銭的報酬・褒賞」を選択している- 1 点

C.

- v) [インセンティブを受ける活動]欄で、「調達の際に環境評価基準を取り入れる」または「サプライチェーンとのエンゲージメント」を選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で「金銭的報酬・褒賞」を選択している- 2 点
または
- vi) [インセンティブを受ける活動]欄で、「調達の際に環境評価基準を取り入れる」または「サプライチェーンとのエンゲージメント」を選択し、かつ[インセンティブの種類]欄で「非金銭的報酬・褒賞」または「その他の非金銭的報酬・褒賞」を選択している- 1 点

D.

C1.3 で「いいえ」を選択している - 0 点

C1.3 が無回答 - 0 点

「その他 (具体的にお答えください)」を選択している場合、スコアリングには反映されません。

配点

得点	配点
6	6

(C3.1) 御社の戦略には、1.5°Cの世界に整合した移行計画が含まれていますか？

回答形式

以下の表に回答してください。

移行計画	移行計画を一般に公開している	移行計画について株主からフィードバックを収集するメカニズム	フィードバックメカニズムについての説明	フィードバック収集頻度	移行計画の詳細を記載した関連文書を添付してください（オプション）	御社に 1.5°C の世界に整合した移行計画がない理由と、今後策定する予定がある場合はその内容を説明してください	気候変動に関連するリスクと機会が、貴社の戦略に影響を及ぼさなかった理由を説明してください
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい。1.5°Cの世界に整合した移行計画を策定しています。 • いいえ。しかし、当社の戦略は気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けていて、移行計画は 2 年以内に策定する予定です。 • いいえ。当社の戦略は気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けていますが、2 年以内に移行計画を策定する予定はありません。 • いいえ。当社の戦略は、気候変動に関連するリスクや機会の影響を受けていません。 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移行計画は、年次総会（AGM）で投票・議決されます。 • 別のフィードバックの仕組みを導入しています。 • 移行計画は年次総会で投票・議決され、さらにフィードバックの仕組みも導入しています。 • フィードバックの仕組みはありませんが、今後 2 年以内に導入する予定があります。 • フィードバックの仕組みはなく、今後 2 年間に導入する予定はありません。 • 当組織には株主がないため、該当しません。 	<p>文章入力欄</p> <p>[最大 2,500 文字]</p>	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎年より頻繁に • 毎年 • 毎年より少ない頻度 	<p>[複数の添付ファイルが可能な機能]</p>	<p>文章入力欄</p> <p>[最大 2,500 文字]</p>	<p>文章入力欄</p> <p>[最大 2,500 文字]</p>

C3.1 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

「いいえ、当社の戦略は気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けていますが、2年以内に移行計画を策定する予定はありません」を「移行計画」欄で選択 -1点

「いいえ、しかし当社の戦略は気候変動に関連するリスクと機会の影響を受けており、2年以内に移行計画を策定する予定です」
または、「はい、1.5℃の世界に整合した移行計画を策定しています」のいずれかを「移行計画」の欄で選択 - 2点

配点

得点	配点
2	2

目標

目標に関する評価の注意点

以下の点にご注意ください:

- 総量目標と原単位目標の両方の目標を報告している場合、全ての目標についてスコアリングし、最終スコア算出において最も高評価となる回答を最終的に採用します。

(C4.1a または C4.1b のどちらか)

(C4.1) 報告年に有効な排出量目標はありましたか？

回答形式

以下の選択肢から選択してください

- 総量目標
- 原単位目標
- ポートフォリオ目標【金融機関のみ】
- 目標なし

C4.1 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

本質問はスコアリングされません。

配点

得点	配点
0	0

(C4.1a) 貴社の排出量総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C4.1 で「総量目標」または「総量目標と原単位目標」を選択した場合、本質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。読みやすくするため、ここでは複数の行に渡って表示しています。「行を追加」をクリックして、回答行を追加することができます。

目標参照番号	Year target was set	目標範囲	スコープ	スコープ 2 の算定方法	スコープ 3 カテゴリー	基準年	目標の対象となる基準年のスコープ 1 排出量 (メートルトン CO2 換算)	目標の対象となる基準年のスコープ 2 排出量 (メートルトン CO2 換算)
選択肢: Abs1~ Abs100	数値記入欄 [1900~2022 の数字を入力]	選択肢: ・ 全社的 ・ 事業部門 ・ 事業活動 ・ 操業地/施設 ・ 国/地域 ・ 商品レベル ・ その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: ・ スコープ 1 ・ スコープ 2 ・ スコープ 3	選択肢: ・ ロケーション基準 ・ マーケット基準	該当するものをすべて選択: ・ カテゴリー 1: 購入した商品・サービス ・ カテゴリー 2: 資本財 ・ カテゴリー 3: 燃料・エネルギー関連の活動 (スコープ 1、2 に含まれないもの) ・ カテゴリー 4: 輸送・流通 (上流) ・ カテゴリー 5: 産業廃棄物 ・ カテゴリー 6: ビジネストラベル ・ カテゴリー 7: 従業員の通勤 ・ カテゴリー 8: リース資産 (上流) ・ カテゴリー 9: 輸送・流通 (下流) ・ カテゴリー 10: 販売された製品の加工 ・ カテゴリー 11: 販売された製品の使用 ・ カテゴリー 12: 販売した製品の廃棄処理	数値記入欄 [1900~2022 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0~999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0~999,999,999,999 の数字を入力]

					<ul style="list-style-type: none"> ・ カテゴリー13：リース資産（下流） ・ カテゴリー14：フランチャイズ ・ カテゴリー15：投資（金融機関には表示されない） ・ その他（上流） ・ その他（下流） 		
--	--	--	--	--	--	--	--

目標の対象となる基準年のスコープ3 排出量（メートルトン CO2 換算）	選択したすべてのスコープで目標の対象となる基準年の総排出量（メートルトン CO2 換算）	基準年のスコープ1 総排出量に対する、目標が対象とするスコープ1 排出量の割合	基準年のスコープ2 総排出量に対する、目標が対象とするスコープ2 排出量の割合	基準年のスコープ3 総排出量に対する、目標が対象とするスコープ3 排出量の割合（すべてのスコープ3 カテゴリー）	選択したすべてのスコープにおいて、目標が対象とする基準年の排出量が、選択したすべてのスコープの基準年の総排出量に占める割合
数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	パーcentage記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーcentage記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーcentage記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーcentage記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]

目標年	基準年からの目標削減率 (%)	選択したすべてのスコープにおいて、目標が対象とする目標年の総排出量（メートルトン CO2 換算） [自動計算されます]	目標の対象となる報告年のスコープ1 排出量（メートルトン CO2 換算）	目標の対象となる報告年のスコープ2 排出量（メートルトン CO2 換算）	目標の対象となる報告年のスコープ3 排出量（メートルトン CO2 換算）
数値記入欄 [2000～2100 の数字を入力]	パーcentage記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	数値記入欄 [0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]

選択したすべてのスコープで目標の対象となる報告年の総排出量 (メートルトン CO2 換算)	基準年と比較した目標達成率 [自動計算されます]	報告年の目標進捗状況	これは科学的根拠に基づいた目標ですか？	目標と野心*	説明してください (目標対象範囲を含む)	目標を達成するための計画、および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成に最も貢献した排出削減イニシアチブを挙げてください
数値記入欄 [小数点以下 2 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄	選択肢: ・ 新規 ・ 設定中 ・ 達成 ・ 期限切れ ・ 改定 ・ 置き換え済み ・ 取り下げ/後退	以下のドロップダウンオプションから選択してください。	選択肢: ・ 1.5°C に整合 ・ 2°C 未満に整合 ・ 2°C に整合 ・ その他、具体的にご記入ください	文章入力欄 [最大 2,400 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]	文章入力欄 [最大 2,500 文字]

*この列は、「これは科学的根拠に基づいた目標ですか？」で、「はい」から続くオプションの 1 つを選択した場合にのみ表示されます。

これは科学的根拠に基づいた目標ですか？ドロップダウンオプション：

[科学的根拠に基づいた排出削減目標ですか？] 欄の選択肢：

以下の選択肢から選択してください：

- ・ はい。「科学的根拠に基づく目標」(SBT)イニシアチブにより、この目標は科学的知見と整合した目標として承認されています。
- ・ はい。この目標は科学的根拠に基づく目標であると考えますが、「科学的根拠に基づく目標」(SBT)イニシアチブの承認を得ていません。
- ・ いいえ。しかし、科学的根拠に基づく別の目標を報告しています。
- ・ いいえ。しかし、今後 2 年間に設定する予定です。
- ・ いいえ。また今後 2 年以内に設定する予定はありません。

C4.1a – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

得点を獲得するには以下の欄をすべて回答しなければいけません：

- スコープ (またはスコープ 3 カテゴリー)
- 目標年

上記の欄を回答している場合、下記の A と B の両方で得点を獲得します。

気候変動に関する評価基準の全段階における質問 C4.1a のリーダーシップ基準に対するパフォーマンスに基づいて、最大 3 ポイントが付与されます。基準の詳細については、気候変動 2022 の評価基準を参照してください。

最大 3 ポイントを付与する。基準の詳細については、気候変動に関する 2022 年の評価基準を参照されたい。

B)

i) [スコープ]が、「スコープ 3 : 購入した商品およびサービス」- 2 点

ii) [スコープ]欄で、いずれかの上流カテゴリーを回答している場合 - 1 点

- ・ カテゴリー 2 : 資本財
- ・ カテゴリー 3 : 燃料・エネルギー関連の活動 (スコープ 1、2 に含まれない)
- ・ カテゴリー 4 : 輸送・流通 (上流)
- ・ カテゴリー 5 : 産業廃棄物
- ・ カテゴリー 6 : ビジネストラベル
- ・ カテゴリー 7 : 従業員の通勤
- ・ カテゴリー 8 : リース資産 (上流)

C)

C4.1 で「目標なし」を選択した場合 - 0 点

C4.1 が無回答 - 0 点

「その他 (具体的にお答えください)」を選択している場合、スコアリング対象とはなりませんのでご注意ください。気候変動スコアが C 以下の場合、A ルートは 3 点満点中 0 点となります。

配点

得点	配点
5	5

(C4.1b) 貴社の排出量原単位目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C4.1 の回答で「原単位目標」または「総量目標と原単位目標の両方」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。読みやすくするため、ここでは複数の行に渡って表示しています。「行を追加」をクリックして、回答行を追加することができます。

目標参照番号	目標を設定した年	目標範囲	スコープ	スコープ 2 の算定方法	スコープ 3 カテゴリー	原単位メトリック
選択肢: Int1~ Int100 から選択	数値記入欄 [1900~2022 の 数字を入力]	選択肢: ・全社的 ・事業部門 ・事業活動 ・操業地/施設 ・国/地域 ・商品レベル ・その他、具体的にお答えください	該当するものを すべて選択: ・スコープ 1 ・スコープ 2 ・スコープ 3	選択肢: ・ロケーションベース ・市場ベース	該当するものをすべて選択: ・ カテゴリー-1: 購入した商品・サービス ・ カテゴリー-2: 資本財 ・ カテゴリー-3: 燃料・エネルギー関連の活動 (スコープ 1、2 に含まれないもの) ・ カテゴリー-4: 輸送・流通 (上流) ・ カテゴリー-5: 産業廃棄物 ・ カテゴリー-6: ビジネストラベル ・ カテゴリー-7: 従業員の通勤 ・ カテゴリー-8: リース資産 (上流) ・ カテゴリー-9: 輸送・流通 (下流) ・ カテゴリー-10: 販売された製品の加工 ・ カテゴリー-11: 販売された製品の使用 ・ カテゴリー-12: 販売した製品の廃棄処理 ・ カテゴリー-13: リース資産 (下流) ・ カテゴリー-14: フランチャイズ ・ カテゴリー-15: 投資 (金融機関には表示されない) ・ その他 (上流) ・ その他 (下流)	以下のドロップダウンオプションから選択してください。

基準年	スコープ 1 の基準年の原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	スコープ 2 の基準年の原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	スコープ 3 の基準年の原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	選択したすべてのスコープの基準年の原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	このスコープ 1 原単位数値で対象となるスコープ 1 の基準年総排出量の割合 (%)	このスコープ 2 原単位数値で対象となるスコープ 2 の基準年総排出量の割合 (%)
数値記入欄 [1900～2022 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]			

このスコープ 3 原単位数値で対象となるスコープ 3 の基準年総排出量の割合 (%)	この原単位数値で対象となる選択したすべてのスコープの基準年総排出量の割合 (%)	目標年	基準年からの目標削減 (%)	選択したすべてのスコープの目標年度の原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算) [自動計算されます]	スコープ 1+2 排出量の絶対値で予想される変化率	スコープ 3 排出量の絶対値で予想される変化率
パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	数値記入欄 [2017～2100 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	数値記入欄 [0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、-999～999 の%を入力]	パーセンテージ記入欄 [小数点以下 2 桁までを使用して、-999～999 の%を入力]

スコープ 1 の報告年における原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	スコープ 2 の報告年における原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	スコープ 3 の報告年における原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	選択したすべてのスコープの報告年における原単位数値 (単位活動量あたりのメートルトン CO2 換算)	基準年に対する目標達成率 [自動計算されます]	報告年の目標進捗状況	これは科学的根拠に基づいた目標ですか？
数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～ 999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄	選択肢: ・ 新規 ・ 設定中 ・ 達成 ・ 期限切れ ・ 改定 ・ 置き換え済み ・ 取り下げ/後退	以下のドロップダウンオプションから選択してください。

目標と野心*	対象範囲を説明し、除外項目があれば明らかにしてください。	目標を達成するための計画、および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成に最も貢献した排出削減イニシアチブを挙げてください
選択肢: ・ 1.5°C に整合 ・ 2°C 未満に整合 ・ 2°C に整合 ・ その他、具体的にご記入ください	文章入力欄 [最大 2,400 文字]	文章入力欄 [最大 2,400 文字]	文章入力欄 [最大 2,400 文字]

[回答行を追加]

*この列は、「これは科学的根拠に基づいた目標ですか？」で、「はい」から続くオプションの 1 つを選択した場合にのみ表示されます。

単位欄の選択肢

以下の選択肢から選択してください。

- グラム CO2 換算/売上旅客キロ*
- メートル トン CO2 換算/USD(\$)付加価値*
- メートル トン CO2 換算/平方メートル*
- メートル トン CO2 換算/アルミニウム 1 トン*
- メートル トン CO2 換算/鉄鋼 1 トン*
- メートル トン CO2 換算/セメント 1 トン*
- メートル トン CO2 換算/段ボール 1 トン*
- グラム CO2 換算/キロメートル*
- メートル トン CO2 換算/単位売上
- メートル トン CO2 換算/単位フルタイム等量
- メートル トン CO2 換算/単位勤務時間
- メートル トン CO2 換算/製品 1 トン
- メートル トン CO2 換算/製品 1 リットル
- メートル トン CO2 換算/生産単位
- メートル トン CO2 換算/提供サービス単位
- メートル トン CO2 換算/平方フィート*
- メートル トン CO2 換算/キロメートル
- メートル トン CO2 換算/旅客キロメートル*
- メートル トン CO2 換算/メガワット時(MWh)*

- メートルトン CO2 換算/石油換算バレル(BOE)
- メートルトン CO2 換算/自動車生産台数
- メートルトン CO2 換算/鉱石処理量のトン
- メートルトン CO2 換算/金 1 オンス
- メートルトン CO2 換算/プラチナ 1 オンス
- メートルトン CO2 換算/骨材 1 トン
- メートルトン CO2 換算/10 億(通貨単位)の運用資産
- その他 (具体的にお答えください)

[科学的根拠に基づいた排出削減目標ですか?] 欄の選択肢:

以下の選択肢から選択してください:

- はい。「科学的根拠に基づく目標」(SBT)イニシアチブにより、この目標は科学的知見と整合した目標として承認されています。
- はい。この目標は科学的根拠に基づく目標であり、現在「科学的根拠に基づく目標」(SBT)イニシアチブの検証を受けています。
- はい。この目標は科学的根拠に基づく目標と考えており、今後 2 年以内に「科学的根拠に基づく目標」(SBT)イニシアチブによる検証を求めることをコミットしています。
- いいえ。しかし、科学的根拠に基づく別の目標を報告しています。
- いいえ。しかし、今後 2 年間に設定する予定です。
- いいえ。また今後 2 年以内に設定する予定はありません。

C4.1b – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

得点を獲得するには以下の欄を回答しなければいけません:

- スコープ
- 目標年

上記の欄を回答している場合、下記の A と B ルートの両方で得点を獲得します。

A)

気候変動評価基準の全段階における質問 C4.1b のリーダーシップ基準に対するパフォーマンスに基づいて、最大 3 ポイントが付与されます。基準の詳細については、気候変動 2022 評価基準を参照してください。

B)

i) [スコープ]欄で、「スコープ 3 : 購入した商品およびサービス」を選択 - 2 点

ii) [スコープ]欄で、他の上流のカテゴリを回答している場合 - 1 点

- ・ カテゴリ 2 : 資本財
- ・ カテゴリ 3 : 燃料・エネルギー関連の活動 (スコープ 1、2 に含まれないもの)
- ・ カテゴリ 4 : 輸送・流通 (上流)
- ・ カテゴリ 5 : 産業廃棄物
- ・ カテゴリ 6 : ビジネストラベル
- ・ カテゴリ 7 : 従業員の通勤
- ・ カテゴリ 8 : リース資産 (上流)

C)

C4.1 で「目標なし」を選択している - 0 点

C4.1 が無回答 - 0 点

「その他 (具体的にお答えください)」を選択している場合、スコアリングには反映されません。気候変動スコアが C 以下の場合、A ルートは 3 点満点中 0 点となります。

配点

得点	配点
5	5

(C4.2) 報告年に有効なその他の気候関連目標を設定しましたか？

回答選択肢

以下の選択肢から該当するものをすべて選択：

- ・低炭素エネルギー消費または生産を増加させる目標
- ・メタン排出量削減目標
- ・ネットゼロ目標
- ・その他の気候関連目標
- ・その他の気候関連目標はない

C4.2 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

本質問はスコアリングされません。

配点

得点	配点
0	0

(C4.2b) メタン排出量削減目標を含む、その他の気候関連目標の詳細を記入してください。

回答選択肢

目標参照番号	目標を設定した年	目標の対象範囲	目標の種類: 絶対値または原単位	目標の種類: カテゴリー	測定基準 (原単位目標を報告する場合は目標の分子)	目標分母 (原単位目標のみ)
Oth1 - Oth100	数値記入欄[1900～2022の数字を入力]	選択肢: ・全社的 ・事業部門 ・事業活動 ・採業地/施設 ・国/地域 ・商品レベル ・その他、具体的にお答えください	選択肢: ・絶対値 ・原単位	選択肢: ・エネルギー生産性 ・エネルギー消費または効率 ・再生可能燃料生産 ・再生可能燃料消費 ・廃棄物管理 ・資源消費または効率 ・低炭素車 ・低炭素建築物 ・土地利用転換 ・メタン削減目標 ・化石燃料削減目標 ・サプライヤーとのエンゲージメント ・顧客とのエンゲージメント ・研究開発投資 ・グリーンファイナンス ・その他、具体的にお答えください	以下のドロップダウン選択肢から選択します	以下のドロップダウン選択肢から選択します

基準年	基準年の数値または比率	目標年	目標年の数値または比率	報告年の数値または比率	目標達成度 (%) [自動計算されます]
数値記入欄 [1900～2022の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [2000～2100 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	数値記入欄 [小数点以下 10 桁までを用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	パーセンテージ記入欄 [-999～999]

報告年の目標進捗状況	この目標は排出量目標の一部ですか？	この目標は包括的なイニシアチブの一部ですか？	対象範囲を説明し、除外項目があれば明らかにしてください	目標達成のための計画、および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成に最も貢献したアクションを挙げてください
選択肢: ・新規 ・設定中 ・達成 ・期限切れ ・改定 ・置き換え済み ・取り下げ/後退	文章記入欄[最大 2,400 文字] [排出量削減目標 ID]	選択肢: ・EP100 ・EV100 ・Below50 – 持続可能燃料 ・科学的根拠に基づく目標イニシアチブ (SBTi) – 承認されたサプライヤーエンゲージメントのターゲット ・科学的根拠に基づく目標イニシアチブ (SBTi) – その他 ・短寿命気候汚染物質 (SLCPS) の削減 ・森林破壊をなくす ・低炭素技術パートナーシップの取り組み ・いいえ、包括的なイニシアチブの一部ではありません ・その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[回答行を追加]

測定基準(原単位目標を報告する場合は目標の分子)ドロップダウン選択肢:

以下の選択肢のうちから 1 つを選択します:

<p>エネルギー生産性</p> <ul style="list-style-type: none">・GDP・米ドル付加価値・売上単位・金重量(オンス)・プラチナ重量(オンス)・骨材重量(メートルトン)・アルミニウム重量(メートルトン)・鉄鋼重量(メートルトン)・セメント重量(メートルトン)・段ボール重量(メートルトン)・製品重量(メートルトン)・処理された鉱石重量(メートルトン)・平方メートル・キロメートル・旅客キロ・売上旅客キロ・製品量(リットル)・生産単位・提供されたサービスの単位・平方フィート・メガワット時(MWh)・石油換算バレル(BOE)・石油換算トン(TOE)・石炭換算トン(TCE)・その他、具体的にお答えください	<p>低炭素建築物</p> <ul style="list-style-type: none">・ネットゼロカーボンビルの割合・ネットゼロエネルギービル (ZEB) の割合・グリーンビルディング認証 (GB 認証) を有するビルの割合・その他、具体的にお答えください <p>土地利用転換</p> <ul style="list-style-type: none">・森林再生された面積(ヘクタール)・植林された面積(ヘクタール)・復元された面積(ヘクタール)・総森林減少ゼロに準拠したサプライチェーンの比率・その他、具体的にお答えください <p>メタン削減目標</p> <ul style="list-style-type: none">・メタン排出量(立方メートル)・メタン漏出量(立方メートル)・燃焼したメタンの量(立方メートル)・メタン総排出量(m3)・メタン総排出量(CO2 換算値)・メタン漏出率(%)・その他、具体的にお答えください <p>化石燃料削減目標</p> <ul style="list-style-type: none">・消費された天然ガスの量(立方メートル)
--	--

<p>エネルギー消費または効率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・kWh ・MWh ・GJ ・百万 Btu ・boe ・toe ・tce ・Gcal ・その他、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費された石炭の量(メートルトン) ・消費された石油の量(バレル) ・燃料ミックスのうちの化石燃料の比率 ・その他、具体的にお答えください
<p>再生可能燃料生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固形バイオマス重量(メートルトン) ・液体バイオ燃料量(リットル) ・バイオガス量(立方メートル) ・水素量(立方メートル) ・その他、具体的にお答えください 	<p>サプライヤーとのエンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GHG 排出量を開示しているサプライヤーの比率 (排出量ベース) ・GHG 排出量を開示しているサプライヤーの比率 (調達額ベース) ・排出量削減目標を設定しているサプライヤーの比率 (排出量ベース) ・排出量削減目標を設定しているサプライヤーの比率 (調達額ベース) ・科学的根拠に基づいた目標を設定しているサプライヤーの比率 (排出量ベース) ・科学的根拠に基づいた目標を設定しているサプライヤーの比率 (調達額ベース) ・気候関連問題に積極的に取り組んでいるサプライヤーの比率 (排出量ベース) ・気候関連問題に積極的に取り組んでいるサプライヤーの比率 (調達額ベース) ・その他、具体的にお答えください
<p>再生可能燃料消費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固形バイオマス重量(メートルトン) ・液体バイオ燃料量(リットル) ・バイオガス量(立方メートル) ・水素量(立方メートル) ・再生可能資源からの総燃料消費量の比率 ・その他、具体的にお答えください 	<p>顧客とのエンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GHG 排出量を開示している顧客の比率 ・排出量削減目標を設定している顧客の比率 ・科学的根拠に基づいた目標を設定している顧客の比率 ・気候関連問題に積極的に取り組んでいる顧客の比率 ・その他、具体的にお答えください
<p>廃棄物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋立地から転換される廃棄物重量(メートルトン) 	<p>研究開発投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低炭素製品/サービスの研究開発投資の、対年間売上比率 ・低炭素製品/サービスの研究開発に投資された金額(米ドル) ・低炭素製品/サービスに特化した研究開発予算/ポートフォリオの比率 ・その他、具体的にお答えください

- ・リサイクル（再資源化）される廃棄物重量(メートルトン)
- ・リユース（再利用）される廃棄物重量(メートルトン)
- ・発生廃棄物重量(メートルトン)
- ・リサイクルされる総発生廃棄物の比率
- ・埋立廃棄物ゼロの事業所の割合
- ・その他、具体的にお答えください

資源消費または効率

- ・再生資源または認定持続可能資源からの紙の比率
- ・消費された紙重量(メートルトン)
- ・再来資源からのプラスチックの比率
- ・消費されたプラスチック重量(メートルトン)
- ・再生資源または認定持続可能資源からの包材の比率
- ・消費された包材重量(メートルトン)
- ・その他、具体的にお答えください

低炭素車

- ・会社保有車両のうちの低炭素車の比率
- ・販売した車両のうちの低炭素車の比率
- ・バイオ燃料を使用する会社保有車両の比率
- ・会社保有車両のうちのバッテリー式電気自動車の比率
- ・会社保有車両のうちの従来型ハイブリッド車の比率
- ・会社保有車両のうちのプラグイン・ハイブリッド車の比率
- ・会社保有車両のうちの燃料電池式電気自動車の比率
- ・電気自動車インフラを備える会社施設の比率
- ・その他、具体的にお答えください

グリーンファイナンス

- ・グリーンボンド発行残高の総額（グリーンボンド比率）
- ・グリーンボンドの比率
- ・グリーン債務商品の発行残高の総額（グリーン債券比率）
- ・グリーン債務証書の比率
- ・グリーンファイナンスの調達・促進（通貨建てで示す）
- ・グリーン投資（通貨建てで示す）
- ・グリーン投資の比率
- ・その他、具体的にお答えください

目標分母(原単位目標のみ)ドロップダウン選択肢:

以下の選択肢のうちから 1 つを選択します:

- KWh
- MWh
- GJ
- Btu
- boe
- toe
- tce
- Gcal
- 売上旅客キロ
- 米ドル付加価値
- 平方メートル
- アルミニウム重量(メートルトン)
- 鉄鋼重量(メートルトン)
- セメント重量(メートルトン)
- 段ボール重量(メートルトン)
- 単位売上
- 単位 FTE (フルタイム当量) 従業員
- 単位当たりの勤務時間
- 製品重量(トン)
- 製品量(リットル)
- 生産単位
- 提供されたサービスの単位
- 平方フィート
- キロメートル
- 乗客キロメートル
- メガワット時(MWh)
- 石油換算バレル(BOE)
- 生産車両数
- 処理された鉱石重量(メートルトン)
- 金重量(オンス)
- プラチナ重量(オンス)

- 骨材重量(メートルトン)
- 10 億 (通貨) の運用資金
- ヘクタール
- 廃棄物重量(メートルトン)
- 燃料重量(リットル)
- 年
- 報告対象期間終了時の社債残高の合計額
- 報告対象期間終了時の借入金残高の合計額
- その他、具体的にお答えください

C4.2b – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

A) 得点を獲得するには以下の欄を回答しなければいけません:

- 目標の種類
- 目標年
- 目標年の数値・パーセント

i) [目標の種類]が「サプライヤーとのエンゲージメント」の場合 - 2 点

「その他 (具体的にお答えください) 」を選択している場合、スコアリングには反映されません。

B) C4.2 において、「その他の気候変動関連目標」を除いた選択肢 - 0 ポイント

配点

得点	配点
2	2

スコープ 3 排出量

スコープ 3 排出量データ

(C6.5) 貴社のスコープ 3 排出量を算定し、除外項目がある場合にはそれを開示、説明してください。

回答形式

以下の表に回答してください。

スコープ 3 カテゴリー	評価状況	報告年の排出量（メートルトン CO2 換算）	排出量計算方法	サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合	説明してください
購入した商品およびサービス	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 関連性あり、算定済 • 関連しているが、算定していない • 関連性なし、算定済 • 関連性がなし、説明済 • 関連性を評価していない 	数値記入欄[最大小数点第 3 位を用いて、コンマなしで 0～999,999,999,999 の数字を入力]	該当するものを全て選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • サプライヤー固有の方法 • ハイブリッド方式 • 平均データ方式 • 支出ベース方式 • 平均的な製品方式 • 平均消費額方式 • 燃料ベース法 • 距離ベース法 • 廃棄物種類別方法 • 資産別方法 • 貸主固有方式 • サイト固有の方法 • 使用段階での直接排出の方法論；具体的に示してください 	数値記入欄[小数点以下 2 桁までを使用し、コンマなしで 0～100 の数字を入力]	文章記入欄[最大 2,400 文字]

			<ul style="list-style-type: none"> • 間接的な使用段階での排出のための方法論；具体的に示してください • フランチャイズに特化した方法 • 投資に特化した方法 • その他、具体的に説明してください 		
資本財					
燃料およびエネルギー関連活動 (スコープ 1 または 2 に含まれない)					
上流の輸送および物流					
産業廃棄物					
ビジネストラベル					
従業員の通勤					
上流のリース資産					
下流の輸送および物流					
販売製品の加工					
販売製品の使用					
販売製品の使用後の廃棄処理					
下流のリース資産					
フランチャイズ					

投資 [金融セクターでは行が非表示、C-FS14.1a で要求されたデータポイント]					
その他(上流)					
その他(下流)					

C6.5 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

本質問の最終スコアは、上から 8 つの「上流」の個々のスコアの合計となります。「その他（上流）」と「その他（下流）」は任意回答欄です。詳細についてはガイダンス資料をご覧ください。

A) 1 行目：「購入した商品およびサービス」:

i) [評価状況]が、

- 「関連性あり、算定済」かつ、[報告年度の排出量（メートルトン CO2e）]と[排出量計算方法]を回答している - 0.5 点

ii) 上記以外 - 0 点

B) 2 行目～8 行目：

i) [評価状況]が、

- 「関連性あり、算定済」かつ、[報告年度の排出量（メートルトン CO2e）]と[排出量計算方法]を回答している - 0.5 点

- 「関連性なし、算定済」かつ、[報告年度の排出量（メートルトン CO2e）]と[排出量計算方法]を回答している - 0.5 点

- 「関連性なし、説明済」かつ、[説明]欄を回答している - 0.25 点

ii) [評価状況]が、

- 「関連しているが、算定していない」または「関連性を評価していない」 - 0 点

iii) 上記以外 - 0 点

配点

得点	配点
4	4

検証

スコープ 3 排出量の検証

(C10.1) 御社が報告した排出量に適用される検証/保証の状況を示してください。

回答形式

以下の表に回答してください。

スコープ	検証/保証状況
スコープ 1	選択肢: <ul style="list-style-type: none">• 排出量データの提供なし• 第三者検証/保証はない• 第三者検証/保証のプロセスがある
スコープ 2 (ロケーション基準、または、マーケット基準)	選択肢: <ul style="list-style-type: none">• 排出量データの提供なし• 第三者検証/保証はない• 第三者検証/保証のプロセスがある
スコープ 3	選択肢: <ul style="list-style-type: none">• 排出量データの提供なし• 第三者検証/保証はない• 第三者検証/保証のプロセスがある

C10.1 – 評価基準

[スコープ 3]について、

A) 「検証/保証状況」欄で、「第三者検証/保証プロセスがある」と回答 - 1 点

または

B) 「検証/保証状況」欄に「第三者検証/保証がない」または「排出量データの提供がない」と回答 - 0 点

配点

得点	配点
1	1

サプライヤーとのエンゲージメント

バリューチェーンとのエンゲージメント

(C12.1) 気候関連問題に関してバリューチェーンとエンゲージメントしていますか？

回答形式

以下の選択肢から当てはまるものを全て選択してください:

- ・ はい、サプライヤーと
- ・ はい、顧客と
- ・ はい、当社の投資先企業と [金融サービスのみ]
- ・ はい、バリューチェーンの他のパートナーと
- ・ いいえ、エンゲージメントしていません

C12.1 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

選択肢で:

i) 「はい、サプライヤーと」を選択 – 1 点

サプライヤーエンゲージメント評価で D より上の評価を得るためには、C12.1 でサプライヤーとエンゲージメントしていることを示す必要があります。

「いいえ、エンゲージメントしていません」を含む選択肢を選択 – 0 点

配点

得点	配点
1	1

(C12.1a) 気候関連のサプライヤーエンゲージメント戦略の詳細を記入してください。

他の質問との関連性

C12.1 で「はい、サプライヤーと」を選択した場合、本質問が表示されます。

回答形式

以下の表に回答してください。読みやすくするため、ここでは複数の行に渡って表示しています。「行を追加」をクリックして、回答行を追加することができます。

エンゲージメントの種類	エンゲージメントの具体的内容	数値ごとのサプライヤーの割合	調達総支出額の割合 (直接および間接)	C6.5 で報告したサプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合	エンゲージメントの対象範囲の根拠	成功を測る評価の指標を含むエンゲージメントの影響	コメント
選択肢:	該当するものをすべて選択:	パーセンテージ記入欄	パーセンテージ記入欄	パーセンテージ記入欄	文章記入欄	文章記入欄	文章記入欄

<ul style="list-style-type: none"> 情報収集（サプライヤー行動の把握） エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤーの行動変容） 技術革新および協力（市場の変革） その他、具体的にお答えください 	<p>情報収集（サプライヤー行動の把握）</p> <ul style="list-style-type: none"> 少なくとも年 1 回、サプライヤーから気候変動および炭素に関する情報を収集する その他、具体的にお答えください <p>エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤーの行動変容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動についてサプライヤーを啓蒙するエンゲージメントキャンペーンを実施する サプライヤー褒賞制度において、気候変動に関する実績が取り上げられている 事業活動における排出量（スコープ 1 および 2）を削減したサプライヤーに対して金銭的インセンティブを提供する 下流排出量（スコープ 3）削減に貢献したサプライヤーに対して金銭的インセンティブを提供する 上流排出量（スコープ 3）削減に貢献したサプライヤーに対して金銭的インセンティブを提供する その他、具体的にお答えください <p>技術革新および協力（市場の変革）</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンペーンを実施して、製品およびサービスの技術革新による気候影響の削減を促す その他、具体的にお答えください 	[小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	[小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	[小数点以下 2 桁までを使用して、0～100 の%を入力]	[最大 2,400 文字]	[最大 2,400 文字]	[最大 2,400 文字]
---	---	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------	---------------	---------------

[行を追加]

C12.1a – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

- i) [数値ごとのサプライヤーの割合]欄を回答 - 0.25 点
- ii) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄を回答- 0.25 点
- iii) [エンゲージメントの種類]欄を回答- 0.25 点
- iv) [エンゲージメントの具体的内容]欄を回答 - 0.25 点

上記に加えて、

- v) [エンゲージメントの種類]欄で、「情報収集（サプライヤー行動の把握）」を選択し、
 - a) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、0 と回答している場合- 0 点; または
 - b) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、0 より大きい値を回答している場合- 4 点; または
 - c) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、39 より大きい値を回答している場合- 8 点

または

- vi) [エンゲージメントの種類]欄で、「エンゲージメントおよびインセンティブ付与（サプライヤー行動変容）」を選択し、
 - a) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、0 と回答している場合- 0 点; または
 - b) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、0 より大きい値を回答している場合- 4 点; または
 - c) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、39 より大きい値を回答している場合- 8 点

または

- vii) [エンゲージメントの種類]欄で、「技術革新および協力（市場の変革）」を選択し、
 - a) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、0 と回答している場合- 0 点; または
 - b) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、0 より大きい値を回答している場合- 6 点; または
 - c) [調達総支出額の割合（直接および間接）]欄、または[C6.5 で報告したスコープ3 排出量の割合]欄で、39 より大きい値を回答している場合- 8 点

評価基準の v) - vii) で得点するためには、評価基準 i), ii), iii), iv) で満点を獲得していなければなりません。

[エンゲージメントの種類]欄で、「その他(詳述してください)」を選択している行はスコアリングされません。

配点

得点	配点
9	9

気候変動スコア

CDP 気候変動スコア

(C1-C14) CDP2022 気候変動スコアに基づいて得点が付与されます。

C1-C14 – 評価基準

サプライヤーエンゲージメント評価基準

CDP2021 気候変動スコアによって、以下の通り得点が付与されます。

- A : 10 点
- A : 9 点
- B : 6 点
- B : 5 点
- C : 4 点
- C : 3 点
- D : 2 点
- D : 1 点
- F : 0 点

配点

得点	配点
10	10

ウェイト

サプライヤーエンゲージメント評価の最終スコアは、各セクションに特定のウェイトを設定して算出します。

CDP 質問セクション	サプライヤーエンゲージメント評価における
ガバナンス	20%
目標	15%
スコープ 3 排出量算定	20%
サプライヤーエンゲージメント	35%
CDP 気候変動スコア	10%